

AirQuality
EVERWALL
SINCE2001

ダイアトーマス®



施工マニュアル
Construction Manual

はじめに

ダイアトーマスは様々なクロス材や樹脂を多く含む塗り壁材、弾性のある化学系塗り壁材と違い、石膏ボードや既存ビニールクロス等に合わせた適切な下地処理が必要となります。

本施工マニュアル以外の施工方法・手順で施工した場合、本製品の性能が損なわれる場合があります。

施工中・施工後の不具合を起こさぬ様、本施工マニュアルを必ず熟読し、ご不明な点がある場合が事前に弊社までお問い合わせ下さい。

ダイアトーマスは天然素材を主原料としています。

稀に小さな米粒大くらいの塊が出るがありますが、品質上には問題がありません。コテで潰してお使いいただくか、固形化してしまったものは、取り除いてご使用下さい。

一般社団法人日本塗料工業会

登録番号

ホルムアルデヒド放散等級区分表示 F☆☆☆☆

国土交通省認定不燃材料 NM-3476

注意事項

安全上の注意

1. 作業にあたっては作業着を着用し、素肌の露出を少なくして下さい。
2. 皮膚に付着した場合は付着物を取り除き、水と石鹸でよく洗って下さい。
3. 眼に入らないようにして下さい。誤って入った場合は清浄な水で最低15分間洗眼後、異常のある場合は医師の手当てを受けて下さい
4. 飲み込んでしまった場合、水で口の中をよく洗い、異常のある場合は医師の手当てを受けて下さい。
5. 子供の手の届かないところに保管して下さい。

現場環境の注意

1. 施工中の室温及び喚起に注意して下さい
(ア) 施工時の室温は5℃以上、最低4時間は維持して施工して下さい。
(イ) 相対湿度が85%以上の場合は、施工を避けて下さい。
(ウ) 冬季など室温が低く乾燥状態が悪い場合は、色ムラを起こしたりアクが出やすくなるので、必ず暖房を入れこまめに換気を行って下さい。
2. ダイアトーマスの乾燥中は室内に大量の湿気を放出しますので、こまめに換気を行って下さい。
3. 急激な乾燥はクラックの原因にもなるので、ご注意下さい。
4. 振動を伴う作業は、ダイアトーマスの施工前に済ませて下さい。

保管上の注意

1. 0℃以下の保管は凍結・破裂の原因となりますので、避けて下さい。
2. 攪拌後の材料が残った場合、開封時のフィルムを用い空気に触れないように材料表面を覆った状態により翌日以降も使用する事が可能です。状況により若干の差し水をして再度攪拌をしてから施工して下さい。
3. 直射日光の当たる場所での保管は、避けて下さい。
4. 容器はその都度密栓して下さい。
5. 容器漏れのないことを確かめ、転倒・落下・損傷のないように積み込み、荷崩れにご注意下さい。
6. 開封及び攪拌後の材料についてはなるべく早く使い切って下さい。その際も空気に触れない様にフィルムで覆い、蓋をしっかりと密閉して下さい。
7. 子供の手の届かないところ保管して下さい。

廃棄上の注意

1. 産業廃棄物(一般 混合物)として許認可を受けた専門業者に処分を委託して下さい。
2. 処分を委託する場合は廃棄物の内容を明確にした上で、産業廃棄物処理業者に委託して下さい
3. 本製品については水質汚濁及び土壌汚染に係る環境基準が定められている為、本製品を含む廃液及び洗浄廃液を直接河川等に流出する事は厳禁です。
4. 本製品を含む廃棄物(汚泥、廃液及びアルカリ)は特別管理産業廃棄物として廃棄物の処理及び清掃に関する法律で規制されています。そのまま埋め立てて投棄する事は厳禁です。

その他の注意

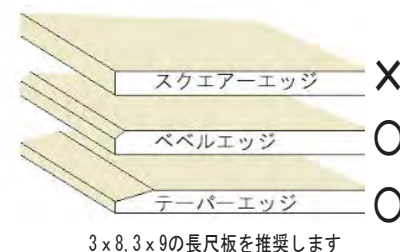
1. 本製品は内装用です。外部への使用は避けて下さい。また浴室・台所など常に水に触れる恐れのある場所への使用も避けて下さい。
2. 本製品へ骨材等を添加する際には、施工者の責任のうえで行って下さい。

下地処理 (プラスターボード編)

下地の動きがクラックの要因となります！

ボード設置

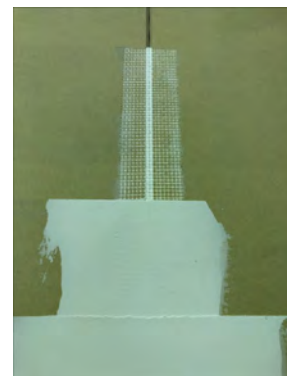
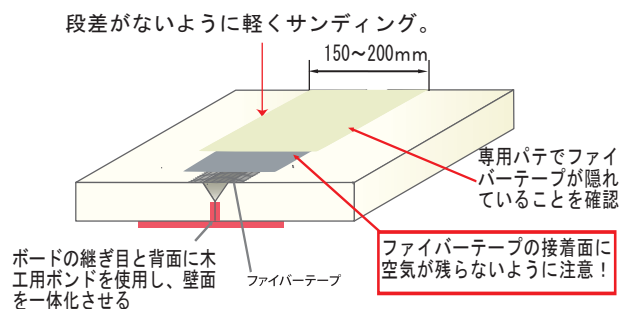
1. プラスターボードは12.5mm厚のテーパーボード又はベベルボードを推奨します。
2. 基本的には横目地が出ないように、3×8板および3×9の長尺板をご使用下さい。
3. 間柱は反りによる狂いの少ないものを使用する事を推奨します。
4. 開口部はボードを欠き込み、ジョイントが出ない施工をして下さい。
5. プラスターボードの継ぎ目と背面には必ず木工用ボンドで接着し、壁面を一体化して下さい。
6. プラスターボードの外周部はさびにくいビス等により、100mm～150mmピッチ(左右少しずらす)にて固定して下さい。鉄製の釘や木ねじは錆浮き出しの原因となりますので、使用しないで下さい。



100～150mmピッチ 左右少しずらして固定

ジョイント処理

1. プラスターボードの継ぎ目と背面に木工用ボンドを使用している事を再度 確認下さい。
表面にボンドがでてしまうとパテの付きが悪くなりますので、ご注意下さい。
2. プラスターボード面の削り粉やほこりをブラシ等で落とします。
3. 専用パテを目地に埋め込みます(1回目パテ打ち)。
V目地の頂点まで確実に専用パテを打ち込んで下さい。
この後グラスファイバーテープを貼りますので、専用パテが目地から極力はみ出ない様にご注意下さい。
4. グラスファイバーテープをジョイント部分に貼ります(使用するテープ幅は約50mm、耐アルカリのものを必ずご使用下さい)。
5. グラスファイバーテープの接着面に空気が残らないように注意して下さい。
6. 専用パテをグラスファイバーテープの上からしごき塗ります(2回目パテ打ち)。専用パテでグラスファイバーテープが隠れている事を必ず確認して下さい。
乾燥時間は120分以上を目安として下さい。
7. 仕上げのパテ処理を行います(3回目パテ打ち)。
8. 十分な硬化を確認します(夏季・冬季、室温・湿度によって硬化時間は大きく変わります)。



1. V目地にパテを埋め込む
2. ファイバーテープを貼る
3. 専用パテをファイバーテープの上からしごき塗り
4. 仕上げパテ
5. ダイアトーマス
上記の順で塗った写真

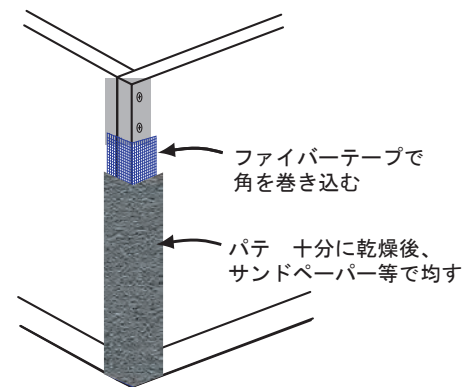
9. サンドペーパー等を使用し、ジョイント部分を平らに均します。
その際テープが透けていないか、テープの繊維が飛び出していないか等を確認して下さい。
- 10.最後に粉や汚れもきれいに落として下さい。

【ご注意下さい】

1. 仕上げパテの乾燥が十分でないと、無数のピンホール(空気穴)が出たり、ダイアトームスを押し上げて凸凹が発生します。
親指で押し込む等、硬化を確認して下さい。
2. 必ず専用パテをご使用下さい。ダイアトームスと専用パテは独自技術によりph調整をしています。
アルカリ性が強いパテはダイアトームスの施工性を損ないます。使用はお控え下さい。
3. パテ処理した面に不陸があると、ダイアトームスで仕上げた際に塗りムラ等の原因となります。
サンディング後は目視だけでなく、手触りでも確認して下さい。

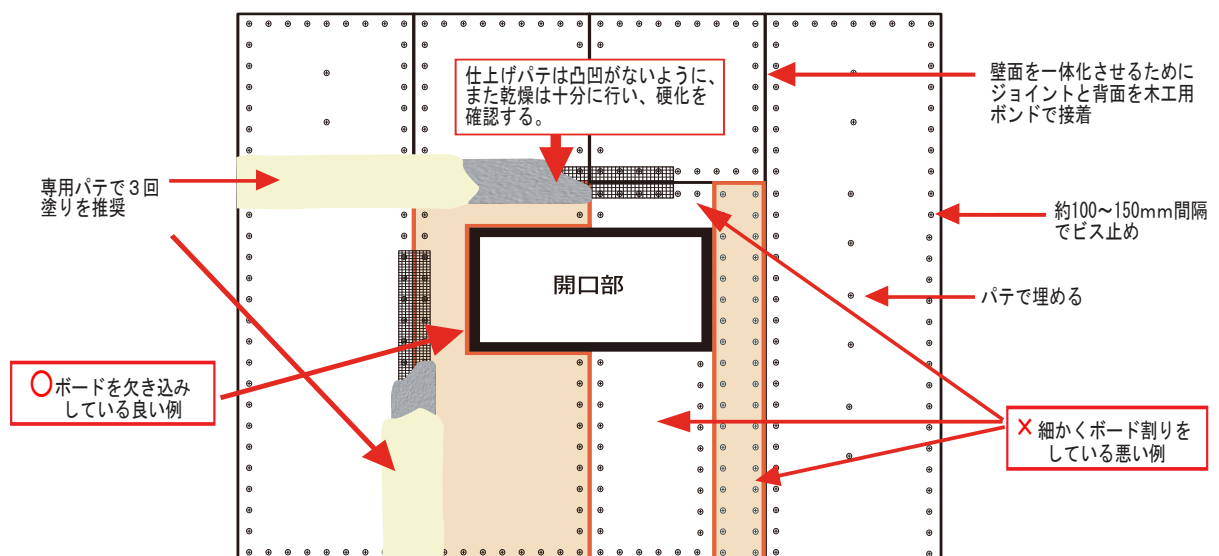
入隅・出隅

1. 垂直に交わる面はしっかりと木工用ボンドで接着し、壁が一体になる様に施工して下さい。
2. 入隅にグラスファイバートープを貼り付けて、テープを覆い隠すように専用パテを塗ります。
3. 完全に乾燥させた後、サンドペーパー等を使用し均します。
その際、粉や汚れもきれいに落として下さい。
4. 必要に応じコーナー材を使用すると綺麗に早く仕上がります。



コーナー材(一例として下記を参考にして下さい)

株式会社シンコー ツートン埋込コーナー定木
長田化成工業株式会社 クロス下地コーナー材



下地処理（ビニールクロス編）

この様な場合はご注意ください！

- 既存ビニールクロスに剥がれがある
- カビや雨漏りなどの跡がある
- シミやアクが浮き出ている（タバコのヤニ含む）
- 既存のビニールクロスの目が粗い（凸凹がある）

既存ビニールクロスのジョイント部分及び 入隅・出隅部分に剥がれがある場合

1. 捲れあがっている部分をカッターナイフ等でそぎ落とし、その部分を専用パテで埋めます。
2. 完全に乾燥した後グラスファイバーテープを貼り、再度専用パテで処理し平らに均します。
3. 既存ビニールクロスのジョイント部分にも、グラスファイバーテープを貼り専用パテで処理し、乾燥した後サンディングして下さい。

カビや雨漏りなどの跡がある

1. 既存ビニールクロスの内側からカビが浮き出ている場合には、一旦施工を中断し専門の業者様にご相談下さい。



シミ・アク止め処理

1. 既存のビニールクロスの汚れは経年又は使用状況により、処理方法は異なります。
2. 汚れが軽い場合は中性洗剤等で汚れを落とし、固く絞ったタオルで拭き取って下さい。
3. 汚れが多い場合は、専用シーラーを使用して下さい。1度で納まらない場合は完全に乾燥した後、複数回塗って下さい。
4. 2回目のシーラー処理の際は塗りムラに注意して下さい。塗りムラがあると仕上げ材の吸い込みに違いが生じ、色ムラの原因となります。

ビニールクロスの目が粗い(凸凹がある)

1. 既存ビニールクロスの目が粗い場合、ダイアトーマスで仕上げた際に柄を拾ってしまいます。
2. また、厚手(起伏がある)で凸凹している場合も気泡が出やすい為、専用パテで目を埋め完全に乾燥してからダイアトーマスで仕上げます。
3. 上記2の他に、新規で凸凹の少ないビニールクロスを貼る方法も検討下さい。
その際にも、ジョイント部分は前述と同様の処理を行って下さい。

施工準備

1. ダイアトームスはペースト状です。粘度は温度・湿度により多少影響されますので作業を開始する前に必ずスパチュラ等ですくい、粘度の状態を確認してください。
2. 開封し付属のフィルムを剥がした際、主材表面のペール缶に接しているフチ面が多少空気に触れて乾燥している場合があります。そのまま攪拌するとコメ粒状の固まりが主材に分散してしまいますので、周囲の固化したものは必ずスパチュラ等を使用し取り除いて下さい。（写真1）
3. 専用カラー液は分離していますので、混ざりやすいように予め良く振ってお使いください。



写真 1

攪拌

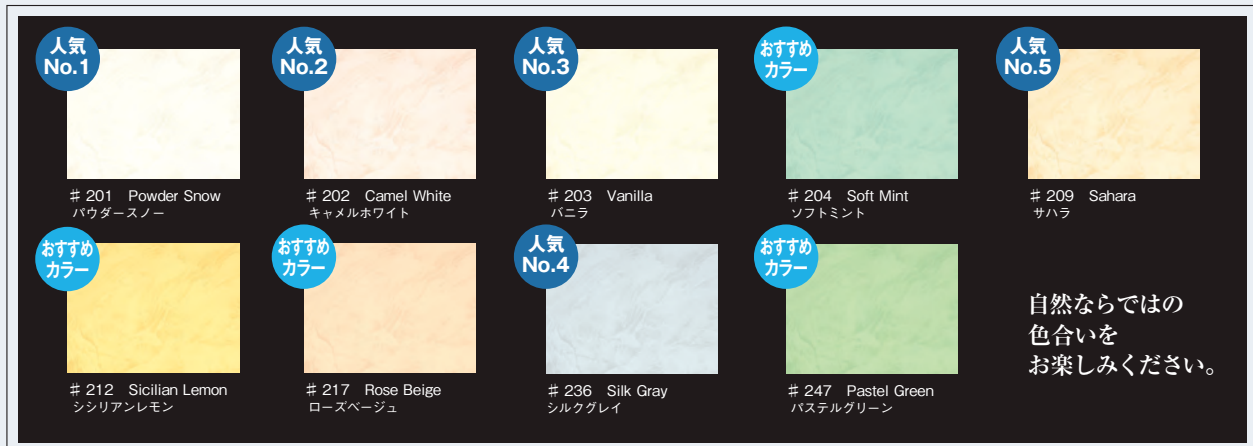
1. 殺菌処理された水道水を専用カラー 1 缶に対し500～600ml用意します(すべて使う必要はありません。好みの粘度でご使用下さい。)
2. よく振った専用カラー液をダイアトームスに移し入れます。容器に残って出しきれなかった専用カラー液は、あらかじめ用意した水を容器に入れ良く振ってダイアトームスに移し入れる、ということを2～3回繰り返し専用カラー液を出し切ります。
3. 攪拌機で専用カラー液をしっかり混ぜます。連続して攪拌すると物性が変化する可能性がありますので、2～3分を混ぜたあと、ペール缶の側面に付着しているダイアトームスをスパチュラでそぎとり、再び2～3分攪拌し色がしっかり混ざっていることを確認して下さい。
4. また、ペール缶の底が混ざりにくい場合がありますのでご注意下さい。
5. 2缶以上を使う場合は、色の微妙な違いが起きないように空のペール缶に半分ずつ入れ攪拌して下さい。
6. 専用パテや専用シーラーも使用前に数分攪拌して施工性を良くしておきます。



専用カラーについて

1. 専用カラーは天然顔料を使用しており、製造ロットによりカラーサンプルと若干異なる場合があります。
2. 予めご了承頂き、必ずお客様とご確認の上施工して下さい。

人気のカラーが室内を彩ります！



仕上げ

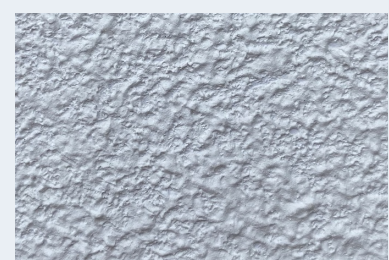
- 仕上げ作業に入る前に、必ずお客様立ち合いのもとカラーとテクスチャー(塗りパターン・柄)の確認をお願いします。
- 使用するコテは、0.3mm厚のステンレス製のものをお勧めします。
- 塗り厚は0.6mm～1.2mm (㎡あたり質量約740g)程度です。
- ダイアトーマス 1缶(18.5kg)で約21㎡の施工を目安としています。
- 薄塗りの為、コテを動かすたび乾燥していきますので、なるべく速く作業して下さい。
- コテは力を入れず軽く持ち、表面を滑らせるように動かすとテクスチャーがきれいに出来ます。
- 力の入れ具合が均等でなかったり何度もコテでこすり直すと、テカリやムラの原因となりますのでご注意ください。
- コテの動きが重い場合は、水道水を霧吹きなどで吹き付けながら作業すると作業性が良くなります。ただし、ビビッドカラーでは噴霧量によって色ムラの原因にもなりますので、ご注意ください。
- 施工し終わったら一度丁寧に全体を見回して、塗りムラや塗り残しがないか確認して下さい。
- 余分な場所に付着したダイアトーマスは、直ぐにきれいなウエス等で拭き取して下さい。
- 全体が均一に乾いていくように窓を開けて十分に換気を行って下さい。
- 完全硬化は1週間以上を目安として下さい。



コテ塗り ベネチアンウエーブ



ローラー塗り 中毛



ローラー塗り 砂骨

ダイアトーマス®が選ばれる理由

voice

壁・天井すべてダイアトーマスを使用しています。
窓をしめきっても換気扇を使わなくても生活臭も犬のニオイも残らないんです。
(新築 48歳・女性)

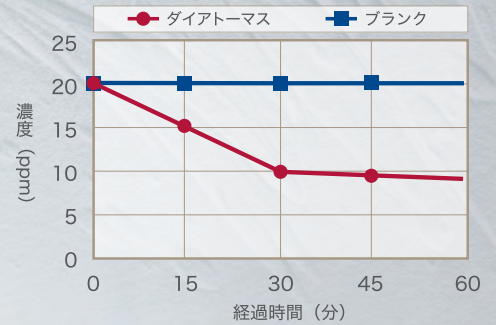
リビングとキッチンがオープンスペースなので調理のニオイを気にしていました。部屋からニオイが消えました。
(新築 30代・女性)

旅行から帰ってきたら、いままでなら下水のニオイがしていましたが、4日間締めきりにしていたのにニオイが気にならなくなった。
(リフォーム 46歳・男性)

お父さんがお家をリフォームしてくれたおかげで、春の花粉の時期は毎年大変でしたが、ぐっすり眠れるようになりました。(リフォーム 12歳・男子小学生)

二人の子供が運動部で、帰宅した後の靴のニオイが気になりましたが、今ではその悩みも解消しました。
(リフォーム 30代・女性)

ホルムアルデヒドの吸着分解テスト



30分後には、ホルムアルデヒド濃度が半減

ダイアトーマス®はユーザー様の目線で妥協せず改良を重ねた結果、
全てにおいて高いパフォーマンスが実現できた製品です。

